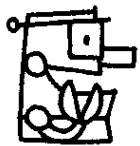


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人とかんきょう / 理解シート

水や空気の、じゅんかんについて教えて



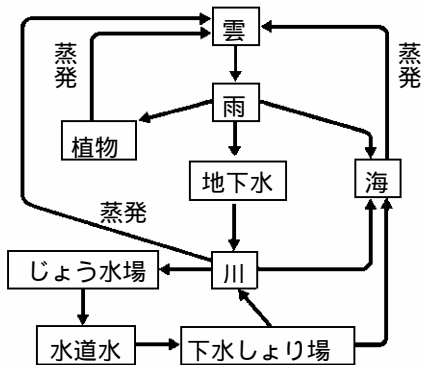
水は、^{すいじょうき}水蒸気 雲 雨水のじゅんかんをくり返し、空気
中では、^{じゅうたん}二酸化炭素と酸素がじゅんかんしているのさ。

水のじゅんかんは、^{じゅうすい}雨水 ^{じょうはつ}蒸発して水蒸気 雲 雨水をくり返す

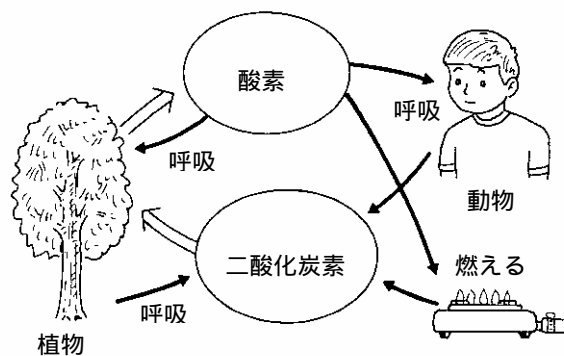
ふだん使っている水は、もとは雨水です。雨水は、地下水や川水、水道水になって海に出ます。使われてよごれた水は、下水しゅり場で、よごれ成分をとりぞいで川や海に流されます。海面や地表面から蒸発した大量の水や、植物が根から吸い上げて葉から出す水蒸気が、雲になり、また雨水になって地上にもどってきます。

空気のじゅんかんは、動物と植物のかかわりあいで行われている

植物は、葉の中で日光の助けをかりて、水と空気中の二酸化炭素を材料に、デンプンと酸素をつくっています。また、生き物はみんな、空気中の酸素を吸って二酸化炭素を出す、^{こきゅう}呼吸をしています。一方、工場や発電所、自動車などを動かすのに、石油や石炭が燃やされ、そのとき大量の酸素が使われ、大量の二酸化炭素が空気中に出てきています。使われてなくなる酸素やできてくる二酸化炭素と、植物が酸素やデンプンづくりに使う二酸化炭素の量がつりあっていれば、空気の成分は変化せず、じゅんかんはうまくいっているといえます。



水のじゅんかん



空気のじゅんかん

もっと知りたい人へ：「地球の水や空気は、どうしてなくなるの」も見てみよう。